

第6回教育セミナー「若手医師のための勉強会」 心室中隔欠損と総肺静脈還流異常

前置き

日本小児循環器学会学術委員会

白石裕比湖

日本小児循環器学会学術委員会が主催する教育セミナー「若手医師のための勉強会」も6回を数えるにいたりました。この勉強会は、学会員の学術向上と診療の水準を高めることを目的として、学術集会期間中に開催しています。

前回(第5回)は、基礎編としてカルシウム、臨床編として房室中隔欠損を選択しましたが、今回は臨床に特化して、1)心室中隔欠損の内科編と外科編、2)総肺静脈還流異常の内科編と外科編を組みました。

心室中隔欠損の講師は、東京女子医科大学循環器小児科 富松宏文先生と千葉県こども病院心臓血管外科 青木 満先生に、総肺静脈還流異常については、長野県立こども病院循環器科 安河内 聡先生と自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児・先天性心臓血管外科 河田政明先生にお願いしました。

本セミナーは第45回日本小児循環器学会総会の期間中、2009年7月15日(総会初日)にA会場で開催しました。当日の参加者数は、主催者の予想を上回り、メインのA会場がほぼ満席になる盛況ぶりでした。

詳細は本論に譲りますが、1)心室中隔欠損について、富松宏文先生からは解剖学的分類、血行動態、エコー診断を中心に、青木 満先生からは手術適応、手術時期、手術法について、2)総肺静脈還流異常について、安河内聡先生からは肺静脈の発生、血行動態、診断、外科とのコラボ、術後管理について、河田政明先生からは外科の視点で術前管理、手術法、周術期管理を中心にご講演いただきました。皆さんご自身の経験を基に、若手への熱いメッセージが込められた内容でした。

座長の労をお執りいただいた明石医療センター 山口眞弘先生、神奈川県立こども医療センター 康井制洋先生をはじめ、ご来場いただいた皆様に、御礼申し上げます。また、この教育セミナーのために貴重な学術集会の時間を提供くださいました総会・学術集會会長の八木原俊克先生に厚く御礼申し上げます。